

2022年11月4日

宮城県教育委員会教育長 伊東 昭代 様  
宮城県教育委員会委員の皆様

## 管理職を含めた全教職員のジェンダー平等研修についての請願書

私たちは、これまで共学教育の充実を願って下記のような要望を貴教育委員会に提出してきました。

1. 女性教員の増員と管理職への登用
2. 女子校からの共学校における男女生徒のアンバランスの是正
3. 施設設備上の問題の解消
4. 管理職を含めた全教職員のジェンダー平等研修

この度は、上記のうち教職員の研修についてお願いいたします。

### 請願の趣旨

現代社会においては、人権にかかわる「ジェンダーとは何か」「なぜ男女共同参画社会の実現が、21世紀わが国社会を決定する最重要課題か」（男女共同参画社会基本法前文）といった視点からの学び直しが喫緊の課題です。学校現場においても、「LGBTとは何か、どう対処すべきか」などの問題を含め、共学教育をより実質的なものとするための研修、具体的には「ジェンダー論」「男女共同参画及びジェンダー平等の意義」等の研修を、管理職を含むすべての教職員に定期的に継続して行うことをお願いいたします。

### 請願の理由

過日（2022年6月26日）私たちは「共学教育の今」をテーマとして、元県立高校校長先生や現役の高校生をパネリストに招きシンポジウムを開催致しました。そのなかで見えてきたのは、ジェンダー平等の考え方がまだまだ生徒たちに浸透していないということです。

私たちは以前から高校見学などの際、先生方や生徒たちから話を伺い「ジェンダー平等がよく理解されていない」と感じていました。そもそも「ジェンダーとは何か」「ジェンダー問題とはどのようなことか」ということを、管理職を含む全教職員が正しく理解し、身につけねばなりません。シンポジウムでも、そのことを改めて強く実感させられました。

以上、ここに請願書を提出するとともに県教育委員会におかれましては、さらなる共学教育の充実に向けて、早急に取り組みますことを強く求めるものです。

県立高校共学教育の充実を求める会

仙台市太白区八木山本町二丁目11の12

共同代表

遠藤 恵子

高橋 満

野呂 アイ

